

平成 29 年 12 月 14 日 (木)



今日は霧島市溝辺町麓の、鹿児島東部ヤクルト販売株式会社で「MBC ラジオポニー号」が「モーニングスマイル」の中継を行いました。

ポニーメイツの赤塚さん、池ノ上さんが、鹿児島東部ヤクルト販売株式会社の取締役総務部長の本地操さんにお話を伺いました。

～ 中 継 内 容 ～

当社は、垂水市で昭和 29 年に操業開始して、平成 8 年に現在のこの霧島市の溝辺町に引っ越してきました。今年で 63 年目になります。

社員数は現在 46 名、車両台数 40 台、ヤクルトレディーが 150 名ぐらいで日々営業活動をしています。

営業活動エリアは、鹿児島県内の東部地域、大隅半島のほぼ全域と鹿児島市桜島町、湧水町、霧島市、始良市など 6 市 6 町をエリアとして、人口 42 万人に対処しています。

16 ヶ所の販売拠点があり、そこを中心に営業活動をしております。

活動内容としては、愛用されているヤクルト商品を中心に乳製品、健康食品、そして化粧品をお届けしたり、職域に販売したり、店舗への納品などを行っています。

また ISO9001 の品質マネジメントシステムや、ISO の 14001 環境マネジメントシステムを平成 7 年の 3 月に取りまして、約 10 年活動をしています。

今年度の県内の安全運転管理のモデル事業所に指定されたということで、毎日、営業活動しているので、日々やっていることですが、今年は特に、事故も多いということで、今の時期は、朝夕の事故が多いので、「3(サン)ライト運動」を中心にやっています。

また、飲酒運転の防止にも取り組んでいます。飲酒運転は会社でもすごく厳

しくなっています。

それと、シートベルトの着用の徹底も、今、やっているところです。運転手はもちろん着用しますが、今、法律は変わりました、後部座席のシートベルトも着けないといけないということで、そういったことも社員の方に含めながらやっているところです。

ほかにも、従業員への意識付けとして、週に1回朝礼をして、朝礼の中で霧島市の事故件数などを出しながら、事故防止の呼びかけを全員にしています。

また、社用車が全車両リース車両なので、それに伴い法定点検をしっかりとっている上、出発前の車両点検、車両日報の作成などをして、日報などで社員の活動などを見ながら、事故が起こらないように工夫しています。それから、年に1回、霧島警察署員に来ていただいて、交通安全教室を実施しています。

ISO14001の中で環境目標というのがあるので、燃費向上に取り組んでいます。燃費向上させるにはどうしたらいいのかと考えたところ、やはり燃費を向上させるには安全運転だなということで、安全運転をするためにはどうしたらいいのかと色々模索していたら、「エコサム」という機械がありました。

これを使用することによって、その人の運転技術が数値化で見えるということが分かり、使用し始めて今年でもう5年目になりました。

その「エコサム」という小さな機械はタバコの箱よりも一回り小さいコンパクトな物になります。

これを着けることで社員1人1人の運転技術というところまでは行きませんが、例えば急ブレーキを何回踏んだとか、急発進を何回したとか、どんな停止時間があつたとか、そういったのがデータ化できます。ということは、それを最終的にトータルして個人の運転技術が数値化で見えるということです。

点数的にはピンからキリまでありますが、点数の少ないほど評価が良いということで、10点以下が理想的な運転技術の点数となっています。

社員が40人いますと、技術の良い社員、悪い社員いますので、良い社員の運転技術をみんなに公表しながら、喚起を促しているところです。

やはりなんといっても「見える」、その人の運転の技術が数値化で見えるというところはポイントじゃないかなと思います。

～本地さんからラジオをお聞きのみなさんにメッセージ～

年末年始にかけて、どの業種も慌ただしくなる時期だと思います。特に日常の道でも県外の車も多く、日常とは違った交通状態になっていることを全従業員に指導し、ゆとりを持った運転に心がけるように会社全体で取り組みまし

よう。

最後に、エコサム導入は会社のためにはプラスになると思いますので、導入をお勧めいたします。

